

保証書

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください

品名：ウォールサイド
製品型番：YW9177
保証期間：お買い上げ日より1年間

お買い上げ日：

お客様ご住所：
お名前：
電話番号：

販売店住所：
店名：
電話番号：

販売店様へ
ご購入時に貴店にて、保証書の所定事項（お買い上げ日、貴店住所、貴店名など）をご記入の上、当製品をご購入いただいたお客様にお渡しください。

よくしるさんごよう

輸入・発売元：株式会社 芳国産業
電話番号：03-3843-7841（お客様相談室係）
郵便番号：111-0043
住所：東京都台東区駒形2-4-11

（受付時間：土・日・祝日・長期休暇期間を除く、平日午前10時～午後5時まで）

この商品に関するお問い合わせをいただく際は、商品名（ウォールサイド）もしくは製品型番（YW9177）をお申し出いただくこと、より円滑にご相談いただけます。

アフターサービス

- ▼取扱説明書内の「故障かな？と思ったら(裏面)」を確認しても不具合が直らない場合はお求めの販売店もしくは弊社「お客様相談室係」に修理をご相談ください。
- ▼保証期間中は保証書の無料保証規定に従って、無料修理いたします。当製品に保証書を添えてお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」へお申し付けください。
- ▼保証期間経過後はお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」で有料修理を承ります。
- ▼外装部品やその他の付属品についての修理、製品交換などには類似の代替品を使用する場合があります。

無料保証規定

- 本書は、本書記載内容で、無料修理をさせていただきますことをお約束するものです。
- 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、当製品と本書をご用意の上、お求めの販売店へご持参いただき弊社「お客様相談室係」へご相談ください。
 - ご転居、ご贈答品などで、お求めの販売店に修理依頼できない場合には、弊社「お客様相談室係」へご相談ください。
 - 保証期間内でも、次のような場合には、有料修理となります。
 - ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障や損傷。
 - お買い上げ後の転倒や落下、輸送等による故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天変地変、公害や異常電圧、指定外の使用電源などによる故障や損傷。
 - 一般家庭以外（例えば業務用などの長時間使用など）のご使用による故障や損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお客様名、お買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書き換えられた場合。
 - ご使用上のキズ、変色、汚れなど。
 - 未使用品であっても保証期間を過ぎて不具合が発生した場合（保管の状況により、自然劣化などが進行する場合があります）。
 - 運賃、掛掛費用は基本的にお客様にてご負担になります。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。 This Warranty is valid only in Japan.
 - この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 - お客様にご記入いただいた保証書個人情報、修理・サービスに利用させていただきます場合がございます。

by Landex

電波掛時計 ウォールサイド

商品名



電池別売

単3電池1本をご用意ください。

この度は当製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用いただけますよう、お願い申し上げます。なお、読み終わったあともお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

製品仕様

製品型番：YW9177

使用环境温度：+5℃～+40℃

時間精度(常温中)：±1秒/月(標準時刻電波の受信に成功した直後)
±30秒/月(標準時刻電波を受信していない場合)

自動受信：1日7回(以下の時刻で自動的に行われます)
(午前の時間帯)2時16分、3時16分、6時16分、10時16分
(午後の時間帯)2時16分、6時16分、10時16分

使用乾電池：単3型乾電池1本(アルカリ乾電池推奨) ⇒別売

電池寿命：約10ヶ月(標準時刻電波の受信状況、ご使用状況により)

付属品：取扱説明書(保証書付) ⇒ 本書、壁掛け用ネジ1本
主な機能：標準時刻電波受信機能、標準時刻電波受信「オフ」機能
生産国：中国

▼一部の高性能電池は初期電圧が高いため、当製品の使用に不向きな場合があります。

▼充電電池は当製品が正常に作動しない場合がありますので、ご使用しないでください。

▼製品仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。

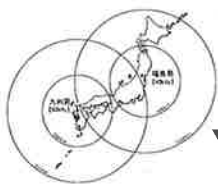
▼印刷による制限のため、この取扱説明書の図が実際の製品と異なる場合があります。

電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準時刻電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準時刻電波は国立研究開発法人情報通信研究機構が管理・運営しており、福島県「おおかたかや山-40kHz」と福岡県・佐賀県の景況「はがね山-60kHz」の2か所から送信されています。条件の良い時は送信所から1,200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・置き場所・時計の向き・地形・建物・時間帯などの影響で受信できない場合がございます。その場合はクォーツ時計としてこの取扱説明書の製品仕様に記載された精度(標準時刻電波を受信していない場合)で作動します。

標準時刻電波、標準時刻電波の送信状況に関する詳しい情報は、以下のホームページをご覧ください。

＜国立研究開発法人情報通信研究機構＞
<https://jij.nict.go.jp/index.html>



- ▼標準時刻電波の送信設備等の管理・維持の都合により、電波の送信が停止することがあります。
- ▼上記URLは予告なく変更される場合があります。

電波時計の使用場所について

以下のような場所では、標準時刻電波を受信できない場合があります。



- マンションやビルなどの地下
- 高圧線、テレビ塔や電車の高架橋の近く
- 電化製品やOA機器の近く



- 自動車、電車、飛行機などの乗りもの中
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 工事現場、空港、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 金属製の家具の上など、電波を遮断する所。
- 周囲が山やビルなどに囲まれ、標準時刻電波の入りが悪い所。

標準時刻電波の受信について

- 標準時刻電波の受信をしない場合**
⇒ 電波発信局の方角に近い窓際に当製品を置いて、再度受信をお試しください。
⇒ 電池を一旦取り外して、夜間に電池をセットしなおし、窓際に置いて朝まで様子を見てください(夜間は昼間と比較して、標準時刻電波の受信に成功しやすい傾向があります)。



電池をセットしたら、受信が完了するまで窓際に置いてください。



受信していないか、電池が消耗している可能性があります。電池が消耗している場合は、新しい電池と交換し、窓際で再度受信をお試しください。

※上の写真は使用場所のイメージです。写真中の展示物は付属品ではありません。※当製品を窓際に置く場合、直射日光が当たるなどで高温になる場所のご使用はお控えください。また当製品が雨などに濡れないようご注意ください。

安全上のご注意(必ず守ってください)

ここに示す内容は、当製品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。ご使用前によくお読みの上、お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示内容を無視して、誤った使い方により生じる損害や危害の程度を区分する記号	
⚠ 警告	人が死亡または重症などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性や、物的損害が生じる可能性を示しています。
必ずお守りいただく行為(強制)と禁止行為を区分する記号	
❗	必ず守らなければならない行為(強制)を示す記号です。
🚫	絶対にしてはいけない禁止行為を示す記号です。

- ▼電池について
 - ⚠ 分解、ショート(短絡)などをしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。また、火中に入れる、強い衝撃を与えるなど、絶対にしてはなりません。
 - ⚠ 電池からもれた液が目に入った場合は、失明する恐れがありますのですぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。皮膚や衣類などに付着した場合はきれいな水で洗い流してください。
 - ⚠ プラス(+)、マイナス(-)の方向を正しく入れてください。
 - ⚠ 長時間使用しないときは、電池を必ずはずしてください。液もれにより当製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
 - ⚠ 電池に直接ハンダ付けをしたり、水で濡らしたりしないでください。液もれや破損などの恐れがあります。
 - ⚠ 電池を保管する際は高温・高湿な場所や直射日光が直接あたるところは避けてください。また、使用済みの電池はお住まいの地区自治体の廃棄方法に従って、速やかに廃棄してください。液もれや破損などの恐れがあります。
 - ⚠ 電池の端子の汚れにより、当製品が使用できない場合があります。その際は乾燥したやわらかい布などで電池の端子を拭いて汚れをとってからご使用ください。
 - ⚠ 当製品が使用可能でも液もれなどを防ぐために、定期的に電池交換をしてください。
 - ⚠ 電池に推奨使用期間が表示されている場合、期間を過ぎた電池のご使用はお控えください。液もれや破損などの原因になります。

- ▼誤飲による事故防止について
 - ⚠ 電池や部品は幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師の治療を受けてください。
- ▼梱包用袋について
 - ⚠ 梱包用の袋は絶対にかぶらないでください。また、幼児の手の届く所に置かないでください。
 - ▼分解禁止について
 - ⚠ 当製品を分解したり、改造しないでください。故障の原因になります。
 - ▼時計の掛け金具について
 - ⚠ 当製品を掛ける壁の材質・構造をご確認のうえ、当製品の重さに耐えられる掛け金具をお選びください。

▼時計の掛け方
当製品を掛けるときは、必ず垂直な壁に取り付け、上下左右に軽く動かして確実に掛かっているかを確認してください。掛け方が不十分ですと当製品が落下し、けがや当製品の破損などの原因となります。

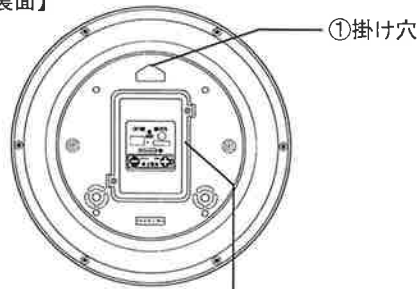


当製品の使用場所について

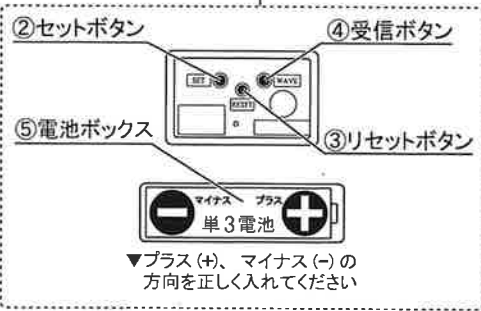
- 下記のような所では使用や保管をしないでください。
- ・温度が+40℃を超える所。例えば、直射日光や暖房器具の熱風が当たる所、火気に近い所や屋外など。
 - ・温度が+5℃より下になる所。
 - ・ほこりや塵が多い所。
 - ・湿気が多い所(加湿器の蒸気があたる所など)、水が直接掛かる所(当製品は防水ではありません)。
 - ・強い磁気のある所、激しい振動のある所。
 - ・多くの油を使用する所。
 - ・当製品が倒れたり、落ちたりしそうな不安定な所。
 - ・ビニール系素材の敷物の上や壁など(敷物や壁、当製品が汚れたり、傷んだりすることがあります)。
 - ・幼児の手が届く所。
 - ・防虫剤やアロマランなどのすぐそば。

各部の名称

【裏面】



操作部周辺図



▼プラス(+), マイナス(-)の方向を正しく入れてください

【正面】



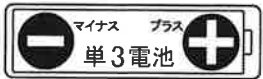
※時計イラストの時刻表示は一例です。

ご使用方法

【1】電池を入れる

単3乾電池1本を「⑤電池ボックス」に電池のプラス(+), マイナス(-)の方向を間違えないよう、正しい方向に入れてください。絶縁シートなどが付いている場合は、取り外してからご使用ください。

「⑤電池ボックス」周辺図



- ▼一部の高性能電池は初期電圧が高いため、当製品の使用に不向きな場合があります。
- ▼充電電池は当製品が正常に作動しない場合がありますので、ご使用しないください。
- ▼電池のプラス(+), マイナス(-)を間違った方向に入れ、放置しないでください。当製品の故障の原因となる場合や、電池の発熱、液もれなどの原因となります。
- ▼電池交換の際はアルカリ単3乾電池をおすすめいたします。

【2】標準時刻電波の受信をはじめる

電池を入ると「⑥時針」、「⑦分針」、「⑧秒針」が高速で動きはじめ、「12時」の位置で全ての時計針が停止し、自動的に受信を開始します。

▼正しく標準時刻電波を受信するために、取扱説明書内の「電波時計の使用場所について(裏面)」および「標準時刻電波の受信について(裏面)」をご参照ください。

▼受信中は当製品を動かさないでください。受信中に当製品を動かすと、標準時刻電波を正しく受信できない場合があります。

▼受信に要する時間は約3分から約16分です。この間に受信しない(現在時刻を表示しない場合は取扱説明書内の「[3] 受信結果」の「× 受信失敗」をご参照ください)。

【3】受信結果

○受信成功

標準時刻電波の受信に成功すると「⑥時針」、「⑦分針」、「⑧秒針」が高速で動きはじめ、現在時刻を示します。

×受信失敗

標準時刻電波の受信に失敗すると、受信を開始してから約16分後に「12時」の位置から「⑧秒針」が動きはじめます。このような場合は、下記の(対処1)～(対処3)のいずれかの方法をお試しください。



標準時刻電波の受信に失敗すると「12時00分00秒」から「⑧秒針」が動きはじめます。

※時計イラストの時刻表示は一例です。

(対処1)

取扱説明書内の「電波時計の使用場所について(裏面)」および「標準時刻電波の受信について(裏面)」を確認し、受信しやすい所に場所をかえて再度受信させる。

(対処2)

一昼夜様子を見る(昼間は標準時刻電波の受信を阻害する電波が多く存在する可能性があります。夜間は昼間と比べると標準時刻電波の受信を阻害する電波が少なく、受信がしやすい環境になる傾向があります)。

(対処3)

「[6] 手動で任意の時刻にあわせる」を参照し、手動で時刻設定を行う。

【4】自動受信について

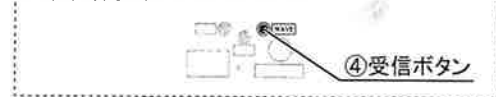
当製品は標準時刻電波の受信を自動的に行う時刻があらかじめ設定されており、自動受信により標準時刻電波を正しく受信すると、時刻の補正が自動的に行われます。

- ・自動受信は1日7回で、以下の時刻で自動的に行われます。(午前の時間帯) 2時16分、3時16分、6時16分、10時16分 (午後の時間帯) 2時16分、6時16分、10時16分
- ▼自動受信中は「⑧秒針」が停止する場合があります。

【5】手動で受信させる

「④受信ボタン」を約3秒押し続けると、任意に受信を開始させることができます。このとき「⑥時針」、「⑦分針」、「⑧秒針」が高速で動きはじめ、「12時」の位置で停止し、受信を開始します。

操作部周辺図



- ▼この操作で受信に失敗した場合、受信をさせる前の時刻に戻ります。
- ▼この操作で受信中に「②セットボタン」を約3秒押し続けると、受信が中止され、手動で任意の時刻にあわせる状態になります。
- ▼標準時刻電波の受信機能が「オフ」の状態(取扱説明書内の、「[7] 標準時刻電波の受信機能を「オフ」にする」をご参照ください)では「④受信ボタン」を操作しても、標準時刻電波の受信を行うことはできません。

【6】手動で任意の時刻にあわせる

当製品は手動で任意の時刻にあわせることができます。「②セットボタン」を約3秒押し続ける

⇒秒針が一旦停止し、「時刻合わせモード」になります。

操作部周辺図



“時刻合わせモード”中に「②セットボタン」を1回押す⇒時刻が1分進みます。
“時刻合わせモード”中に「②セットボタン」を長押し(約1秒)⇒早送りで時刻が進みます。

▼“時刻合わせモード”中に約5秒間操作を中断すると、“時刻合わせモード”が解除されます。

▼手動で時刻を合わせる場合、「⑧秒針」を任意に操作することはできません。

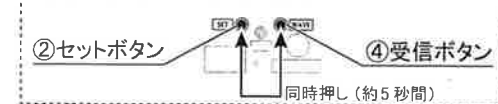
▼手動で時刻を合わせても標準時刻電波の受信機能が「オン」(「[7] 標準時刻電波の受信機能を「オフ」にする」参照)の場合、自動受信の時刻になると受信を開始し、標準時刻電波の受信に成功すると時刻の修正を行います。

【7】標準時刻電波の受信機能を「オフ」にする

当製品は電波受信機能を「オフ」にすることで、通常のクォーツ時計としてご使用いただけます。時刻を任意にずらしてご使用になりたい場合や、受信が不安定な場所で電波を受信せずにご使用になる場合に便利な機能です。

「②セットボタン」と「④受信ボタン」を同時に約5秒間押し続けると、「⑧秒針」が高速で動き出し、「2時」もしくは「10時」の位置に停止します。

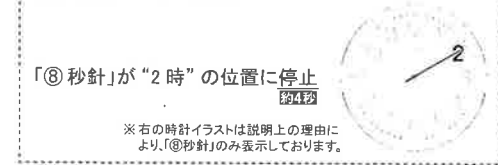
操作部周辺図



・「⑧秒針」が「2時」の位置に停止したとき

標準時刻電波の受信機能が「オン」の状態です。当製品にプログラムされている時刻になると、定期的に標準時刻電波の受信を開始し、受信に成功すると時刻の修正を行います。

受信機能が「オン」の状態

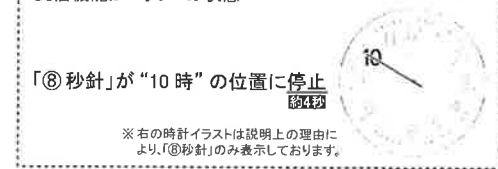


※右の時計イラストは説明上の理由により、「⑧秒針」のみ表示しております。

・「⑧秒針」が「10時」の位置に停止したとき

標準時刻電波の受信機能が「オフ」の状態です。自動受信時刻になっても受信を行いません。また、「④受信ボタン」を押しても手動で標準時刻電波の受信をさせることができません。

受信機能が「オフ」の状態



※右の時計イラストは説明上の理由により、「⑧秒針」のみ表示しております。

“オン”と“オフ”を切替えるには、再度「②セットボタン」と「④受信ボタン」を同時に約5秒間押ししてください。操作をすることにより“オン”と“オフ”を切り替えることができます。

▼標準時刻電波の受信中は“オン”と“オフ”の切替はできません。
▼当製品の初期設定(電池を入れた直後や、「③リセットボタン」を押した直後)段階では標準時刻電波の受信機能は“オン”の状態となっております。

【8】当製品を壁などに掛ける

取扱説明書内の「▼時計の掛け金具について(裏面)」および「▼時計の掛け方(裏面)」をよくお読みいただき、掛け金具に「①掛け穴」がしっかり掛かっていることをよく確認してください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理に出す前に下記の点をご確認ください。

▼「⑥時針」、「⑦分針」、「⑧秒針」が動かない

- ・標準時刻電波の受信中
⇒標準時刻電波を受信すると、現在時刻を示します。
- ・電池が入っていない
⇒電池が入っていない場合は電池を入れてください。
- ・電池のプラス(+), マイナス(-)があつていない
⇒電池の方向をご確認ください。
- ・電池の容量が少なくなっている
⇒新しい電池に交換し、様子を見てください。
- ・静電気などの影響による誤動作
⇒「③リセットボタン」を押して、様子を見てください。

▼時間が合わない

- ・標準時刻電波を受信しにくい環境にある
⇒取扱説明書内の「電波時計の使用場所について(裏面)」および「標準時刻電波の受信について(裏面)」を確認し、受信しやすい所に場所をかえてください。
- ・電池の容量が少なくなっている
⇒新しい電池に交換し、様子を見てください。

▼当製品が操作できない

- ・静電気などの影響
⇒「③リセットボタン」を押して、再度お試しください。

お手入れについて

本体の汚れは水洗いせず、スポンジかやわらかい布に家庭用の中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いたやわらかい布で拭いてください。

▼ベンジン、シンナー、漂白剤などの薬品は使わないでください。

▼静電気などにより、当製品を掛けて使用した際に壁面に汚れる場合がありますので、定期的に汚れを落としてください。

当製品、電池、梱包材などの廃棄

- ・お住まいの地区自治体の廃棄方法に従ってください。
- ・当製品、電池、梱包材などは分別して廃棄してください。

- ・印刷による制限のため、この取扱説明書の図が実際の製品と異なる場合があります。
- ・この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁止します。
- ・当製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。